

平成25年度 事業報告書

自 平成25年4月 1日

至 平成26年3月31日

公益財団法人北海道文化財団

## I 概要

北海道文化財団は、道民一人ひとりが心の豊かさを実感できるゆとりと潤いに満ちた地域社会の実現をめざし、道民生活の全般に係る幅広い文化の振興に関する事業を行い、もって新しい地域文化を創造するとともに、全ての道民の皆さんが文化の恵みを楽しむ生活文化圏づくりに資することを目的として、平成6年11月に設立された。

また、平成24年4月には、公益法人制度の改革に伴い、公益財団法人として再出発した。当財団では、平成25年度においてもこれまでの事業を継続し、道民の皆さんが自主的に取り組まれる文化活動を支援する事業や、道民の皆さんに優れた芸術文化に触れる機会を提供する事業、文化交流の促進に関する事業、文化情報を提供する事業などを行った。

## II 文化財団事業

### 1 文化基金事業

#### (1) 文化の創造活動に関する事業

##### ア まちの文化創造事業

地域住民が参加する自主的で創造的な、音楽・演劇・舞踊等の舞台発表活動や美術・映像・文芸等の展示発表活動に対し、経費の負担や助言を行い、自主的な文化活動を促進するとともに、文化活動による地域づくりの機運の醸成を図った。

- シアタープログラム 22事業(16市町村)
- ギャラリープログラム 10事業(13市町村)

##### イ アドバイザー派遣事業

地域の文化団体等からの要請に基づいて、文化活動に関する専門的な知識や経験を有するアドバイザーやプロのアーティストを派遣し、事業企画や舞台技術に関する指導・助言、舞台表現に関するワークショップ等を行い、課題を解決するなど、地域における文化創造活動を支援した。

- 文化企画アドバイザー 1件(島牧村)
- 舞台技術アドバイザー 2件(遠別町、清里町)
- 舞台表現アドバイザー 9件(札幌市⑤、本別町、芽室町、斜里町、中標津町)

##### ウ 舞台創造支援事業

舞台づくりの講座やワークショップ等の舞台制作のプロセスを体験しながら舞台上演することを通して、地域で演劇や音楽等の活動に携わる人材の育成と、能力の向上を図るとともに、公立文化ホール等の利用や住民参加の向上を図った。

1箇所 NPO 法人空知文化工房(滝川市)

#### (2) 鑑賞機会の拡充に関する事業

##### ア アートシアター鑑賞事業

当財団が選定した公演演目や各市町村が連携・企画した道内外で活動するアーティストによる舞台芸術公演の実施団体等に対し、経費の負担や助言等を行い、優れた芸術鑑賞の機会を提供することにより、文化の裾野の拡充を図った。

- 道内アーティストプログラム 12公演(12市町村)
- 道外アーティストプログラム 29公演(28市町村)
- ネットワーク型公演 8公演(8市町村)

#### イ 文化の宅配便事業

公立文化ホールが無いなど、鑑賞環境が整備されていない市町村に、小規模な芸術鑑賞事業とワークショップ等の芸術普及活動を組み合わせた啓発育成プログラムを提供し、文化活動への参加意欲や地域での文化活動の振興を図った。

4箇所（月形町、喜茂別町、福島町、木古内町）

#### ウ アート体感教室事業

国内外で活躍するアーティストを道内各地に派遣し、各地の子どもたち（児童・生徒）を対象とした体験型ワークショップや、アーティストとの共同制作等の交流を行うほか、アーティストとともにミニライブや展覧会を通して、豊かな想像力や表現力の育成を図った。

4箇所（小平町、利尻町、大空町、様似町）

### (3) 文化活動の促進に関する事業

#### ア アートゼミ事業

道内で舞台芸術や音楽、美術等の創作・表現活動、企画制作・マネジメントに関わる方を対象に、少人数による実践的な講座を開催し、アーティスト等の資質の向上を図った。

また、特別講座として、縄文遺跡群の価値や存在意義を広く道民に周知するため、シンポジウムや展示などを行う「北の縄文シリーズ」を開催し、世界遺産登録への機運の醸成を図った。

4講座（札幌市）

#### イ 若手芸術家発表事業

当財団が推薦する若手芸術家（HAFアーティスト）を地域に派遣し、コンサートやアウトリーチ活動を行い、道内で活動する若手アーティストの育成と地域における文化の振興を図った。

また、平成26年度から活動する新たなHAFアーティストを選定するため、オーディションを実施した。

6箇所（増毛町、豊頃町、江差町、むかわ町、上ノ国町、東神楽町）

### (4) 文化交流の促進に関する事業

舞台芸術分野（音楽・演劇・舞踊等）で活躍している道内の文化団体等が道外や海外で行う公演等や、道外や海外の文化団体を招聘して道内の文化団体等と交流を行う公演等に経費の助成を行い、道内の文化活動のレベルアップを図るとともに、優れた人材の育成を行った。

また、文化提携交流を行っている韓国光州広域市に、札幌の劇団「座・れら」を派遣し、演劇「不知火の燃ゆ」を上演するなど、光州の演劇関係者と交流を行うほか、光州の美術グループを札幌に招聘し、道内作家と合同展を開催するとともに、写真展を行うなど、新たな展開の文化交流を行った。

- 発信交流事業 4件（札幌市④）
- 招聘交流事業 3件（北広島市、釧路市、札幌市）
- 文化提携交流事業 3件（韓国光州広域市、札幌市②）

## (5) 文化情報の提供に関する事業

### ア 文化情報提供事業

当財団が実施する各事業の内容や、地域において自主的に企画する文化活動の参考となる情報を、情報誌「北のとびら」やホームページを通して提供したほか、当財団のオフィス内に、文化や舞台芸術について、“読む”“聴く”“見る”ことのできる「文化情報ライブラリー」や美術作品等紹介する「アートスペース」を設け、運営した。

### イ 舞台芸術情報提供事業

道内で実施可能な公演企画の最新情報を各市町村や文化ホールの文化事業担当者に情報提供する「北海道舞台芸術情報フェア」や、鑑賞型事業の共同開催に向けた文化ホールと文化団体の情報交換のための「舞台芸術ネットワーク会議」を、札幌市において開催した。

- 北海道舞台芸術情報フェア
- 舞台芸術ネットワーク会議

## 2 こぐま基金事業

### (1) アートカフェ開催事業

暮らしの中にアートを身近なものに感じてもらうこと、アートを通して人と人が出会い、豊かな時間を持つことを目的に、道内外で活躍するアーティスト等をゲストに迎え、参加者とアーティストが身近な距離で交流するトークイベント等を開催した。

1事業（札幌市）

### (2) 地域文化協働事業

地域文化の一層の創造・発展を図ることを目的に、道内の文化団体の創造活動に対し助成を行うほか、アイヌ文化伝承保持者の口承文芸の記録を行った。また、北海道地域文化選奨への出賞作品（ブロンズ彫刻）を制作した。

6事業

### (3) その他

- ① 平成24年度の財団事業の成果をまとめた年報「一年のあゆみ」を作成した。
- ② 市町村等で開催される会議において、財団事業について説明を行った。
- ③ 道内外の文化関係団体等が開催した各種会議、研修等に参加した。

### Ⅲ 理事会、評議員会及び専門委員会の開催状況

#### 1 理事会

回	開催期日・場所	議 事 等
第1回	平成25年6月11日 北海道文化財団アーツ ペース	議案第1号 平成24年度事業報告について 議案第2号 平成24年度決算報告について 議案第3号 平成25年度定時評議員会の招集について 報告第1号 職務執行状況の報告について
第2回	平成26年3月28日 北海道文化財団アーツ ペース	議案第1号 平成25年度収支予算変更の承認の件について 議案第2号 平成26年度事業計画書の承認の件について 議案第3号 平成26年度収支予算書の承認の件について 議案第4号 資金調達及び設備投資の見込みの件について 報告第1号 職務執行状況の報告について

#### 2 評議員会

回	開催期日・場所	議 事 等
第1回	平成25年6月27日 北海道文化財団アーツ ペース	議案第1号 平成24年度決算報告について 報告第1号 平成24年度事業報告について 報告第2号 平成25年度事業計画書について 報告第3号 平成25年度収支予算書について 報告第4号 職務執行状況の報告について 報告第5号 評議員会運営規程の制定について

#### 3 専門委員会

回	開催期日・場所	議 事 等
第1回	平成25年10月30日 北海道文化財団アーツ ペース	1 平成26年度アートシアター鑑賞事業のメニュー選定 について 2 平成26年度主催事業について
第2回	平成26年3月4日 北海道文化財団アーツ ペース	1 平成26年度共催・助成事業の選定について (1) まちの文化創造事業 (2) アートシアター鑑賞事業 (3) 文化交流事業 2 平成26年度主催事業について